



秋を感じて、生命を感じて

吹く風が心地よく、空を見上げると、ほうきで掃いたような白い雲が浮かび、秋の訪れを感じる頃になりました。

早いもので、今年度が始まって半年が経ちました。初めておうちの人から離れて、保育園生活が始まった0歳児クラスの子どもたちも、よちよち歩いたり、抱っこされたりしながら園内のいろいろな場所にお散歩に出かけています。園庭で過ごしている赤ちゃんも体を感じる風や園庭で遊んでいるお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの声、車の走る音など、外部からの様々な刺激を吸収して五感をフル稼働させています。その気持ちを察するように抱っこしている先生は、赤ちゃんの目線に合わせ、ゆったりと優しく語りかけていました。小さな赤ちゃんですが4~5か月になると声を発し、興味のあることに手を伸ばし、自分の気持ちを表現します。この時期に「〇〇ちゃん大好きよ」「かわいい」としっかり存在を認められ、愛され、丁寧に関わってもらうことで「またやってみようかな」という気持ちが生まれます。これが「主体性のある子ども」を育てることにつながります。

こうして育まれた主体性の芽生えは4・5歳児の頃にはいろいろな力を伸ばしていくために必要な力となっていきます。子どもたちは選択したあそびの中で「もうっかい!」「もっと」と意欲的に繰り返して遊び、継続的なあそびへと発展していきます。子どもたちが「繰り返す」ということを大人がどう受け止め関わっていくのかも重要なところになります。「この絵本が好きなんだね」「虫さんは雨の日どうしてるんだろうね」と子どもの探求心、学びの深まりを喜び、見守っていききたいと思います。

自然に関心を持ち、関わることは豊かな心の育ち

や命の存在に気づき、大切に作る心の育ちにつながります。4歳児は、種まきをして毎日お世話をしてきたアサガオのツルを使って草相撲ならぬツル相撲をして遊び、自分たちで意欲的にあそびを作り出していました。今年は残念ながら暑さのせいかアサガオの花が咲かなかったのですが、アサガオの茎を切ったところから新しい葉っぱが出てきたことで「今度はアサガオの花が咲くかな」と期待し、水やりを続けています。

5歳児は、園庭の小さな畑にネギの種をまき、土のう袋に大根の種をまきました。夏野菜の種まきや苗植えをし、収穫してクッキングをし、味わうことの体験から秋植えの野菜にも興味関心が強くなったようです。土に触れ虫を見つけ、虫に思いを馳せる子もいます。命のつながりは実体験により感じられるものです。保育園での共通体験を重ねながら感謝の気持ち、命を大切にする気持ちを子どもたちと共に感じていきたいと思ひます。

ドキュメンテーション(写真と文章)などを使って保育園での子どもたちの様子、子どもたちがどんなことに心を動かしているのかを保護者の方にお伝えしています。ドキュメンテーションを見ただきながら親子で対話がうまれると嬉しいです。そして、その対話の中でもお子さんの思いや成長に気づいていただけると思ひます。

10月は気候もよく、過ごしやすい時期になります。2歳児から5歳児はバスに乗って、園外保育に出かけます。秋の自然にたっぴりと触れ、豊かな感性を培い、動かないものにも生命があることを感じる機会を十分に作っていききたいと思ひます。そして、感じたことをのびのびと表現できる子どもたちに育ててほしいと願っています。



保育参観
日時：10月19日(土)
0.1歳児クラス
9:15~10:00
2歳児・幼児クラス
10:00~11:00

日頃子どもたちが「これおもしろい」と夢中になっているあそびと一緒に楽しんでいただきながら、しっかり触れ合って楽しい時間になれば…と思っています。

駐車場についてお願い

門が開いている時間(朝7:30~8:40頃・夕方17:10~18:30頃)は園庭を駐車場として利用していただいています。その時間帯に門付近に自転車を止められる方は車の出入りの妨げにならないように停めていただきますようご協力をお願いします。

廃材は宝物!
廃材集めにご協力ありがとうございます。引き続き、ご家庭にある「あっ!これ使えるかも…」と思われるものを持ってきてください。子どもたちのイメージする力、創造力が楽しみですね。

